

と き 令和7年6月24日（火）

ところ 東部公民館 学習室

令和7年調布市公民館運営審議会 第3回定例会速記録

開会 午後2時3分

○安部委員長 それでは、皆さん、こんにちは。何かお天気が変な中なのですけれども、定刻ちょっと過ぎましたが、ただいまから令和7年調布市公民館運営審議会第3回定例会を開催いたします。よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります前に、定足数について事務局から報告をお願いいたします。

○倉持東部公民館主査 本日、曾山委員から欠席の御連絡をいただいております。曾山委員以外の方からの欠席の連絡はございません。現時点において、委員9人中8人の委員が御出席されておりますので、調布市公民館運営審議会規則第5条に規定されている定足数に達しております。

以上です。

○安部委員長 ありがとうございます。定足数に達しているということですので、引き続き審議会を進めてまいります。

本日、傍聴希望者は何名いらっしゃいますでしょうか。

○倉持東部公民館主査 お1人でございます。

○安部委員長 では、入室をお願いいたします。

(傍聴者入室)

それでは、続いて資料の確認を事務局からお願いいたします。

○倉持東部公民館主査 では、本日の資料を確認いたします。郵送でお送りしました資料から確認いたします。まず、令和7年調布市公民館運営審議会第3回定例会日程です。次に資料1、使用状況報告（令和7年4月～5月分）です。次に資料2、事業報告（令和7年4月～5月分）です。次に資料3、社会教育委員の会議（令和7年度第1回定例会）次第です。

続きまして、本日、机上に配付させていただきました資料について御紹介いたします。まず1つ目、令和6年度成人学級「調布トマトの会」学習記録、2 令和6年度成人学級学習記録「いのちの楽校」、3 令和6年度成人学級学習記録「ウエストガーデンきらら」、4 令和6年度成人学級学習記録「サステナブルを学ぶ会2024Since2020」、最後に、令和6年度成人学級学習記録「Multicultural Study Group多文化共生学習グループ」。以上でございます。

○安部委員長 ありがとうございます。お手元にそろっていらっしゃいますでしょうか。

それでは、議事に入ります前に、今回の「公民館だより」への記録につきましては、八

田副委員長にお願いしたいと思いますが、よろしく願いいたします。

それでは、日程第1、報告事項、(1)使用状況報告（令和7年4月～5月分）について、丸山東部公民館長から説明をお願いします。

○丸山東部公民館長　それでは、使用状況報告（令和7年4月～5月分）について御報告いたします。資料1をお願いいたします。

初めに、4月分です。2ページをお願いいたします。下から4行目、公民館ごとの合計欄を御覧ください。東部公民館においては146単位、1,341人、西部公民館においては117単位、1,514人、北部公民館においては227単位、1,375人の使用がございました。3館合計で490単位、4,230人の使用でした。前年の4月と比較いたしますと、37単位、224人の増となっております。

引き続き、5月分の状況につきまして御説明いたします。4ページをお願いいたします。下から4行目になります。公民館ごとの合計欄を御覧ください。東部公民館においては139単位、1,236人、西部公民館においては127単位、1,467人、北部公民館においては228単位、1,547人の使用がございました。3館合計で494単位、4,250人の使用でした。前年の5月と比較いたしますと、54単位、305人の増となっております。

4月から5月分の前年度と比較した状況につきまして御説明いたします。主な要因としては、昨年同月より活発に活動した団体の利用の増、新たな団体の利用の増などです。

説明は以上となります。

○安部委員長　ありがとうございます。ただいまの報告につきまして御質問等ございますでしょうか。栗原委員。

○栗原委員　統計の取り方なのですけれども、前から疑問に思っていたのです。配付された毎月の使用状況と事業報告にそれぞれ人数という項目があるのですけれども、無料展示の場合、例えば廊下に絵を並べた場合、参加者については実際に勘定することはないと思うのですが、一定の算出基準で出していると思うのですけれども、例えば資料上にその旨、明記しておいたほうがいいのではないですか。

例えば、参加者の人数、無料の場合、こういう方式で算出した概数であるということをも明記しておかないと、後々、ただ資料だけ見た人は、そういう事情を知りませんので、数字が独り歩きするのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

○安部委員長　丸山館長。

○丸山東部公民館長　今後、概算というか、算出の根拠と、実質的ではないということこ

ろが分かるような表現をしていきたいと思います。来館者数の7割とか8割とか、割合の公式がありますので、明記していきたいと思います。ありがとうございました。

○栗原委員 ありがとうございました。

○安部委員長 よろしいですか。

○栗原委員 はい。

○安部委員長 ほかにございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

それでは、質疑がないようですので、次に事業報告(令和7年4月～5月分)につきまして、丸山東部公民館長から説明をお願いいたします。

○丸山東部公民館長 それでは、令和7年4月～5月分の事業報告をいたします。資料2の1ページをお開きください。初めに、東部公民館です。

手工芸教室「手編みの夏色サコッシュ作り」は、スマートフォンや小さな財布などが入るお出かけ時にも便利な小さな肩かけバッグを初夏にぴったりの色で作って、外出のきっかけづくりをするとともに、愛着を持ち、物を大切に使うことに関心を持ったり、指先を使うことでリフレッシュしたり、また、教室の中で仲間との会話を楽しむ機会とすることを目的に開催しました。

参加者からは、「編み物をするだけの時間があつたことがうれしかったから」「分からないことを先生が正確に教えてくださったから」「年齢は関係なしに、みんなで編み物を楽しめた、また今度もやってみたい」「いろいろな編み方を覚えられたからです」「とてもすてきな作品ができてよかったです」と10代の声もあり、「初めての編み物教室でしたが、とても楽しく参加できました」「隣の方も優しく教えていただきよかったです」と60代、90代の方からの声上がるなど、幅広い年代で教室の雰囲気は常時和やかな空気が流れていました。

次の東部市民講座Ⅰ「環境・消費・人権・SDGsを考える映画と講演「ザ・トゥルー・コスト～ファストファッション真の代償～」」は、2013年4月24日、バングラデシュの首都ダッカ近郊で死者、負傷者など合計4,000人以上の被害者を出したラナプラザ崩壊事故は、ファッション業界のひずみを浮き彫りにしました。この事故から4月24日をファッションレボリューションデーとして、世界的なムーブメントが誕生し、2015年にはドキュメンタリー映画が誕生しました。この講座をファッションレボリューションデーの4月24日に企画し、映画の上映後には、専門家から10年以上たった現在の状況も含め、「私た

ちの消費生活のこれから」とした講演を開き、私たちが考え、今後進むべき方向性の一助となることを目的に開催しました。

参加者からは、「綿栽培の農薬が原因で知的障害になってしまった子どもの映像に衝撃を受けました」「日本では近年、食品のトレーサビリティは普及してきたように思います。衣服の生産も同じようにトレーサビリティが普及する社会になるように、消費者が声を上げることが必要と思いました」「インドの綿農家が自殺した。工場の公害、ファストファッションによるごみ問題など、断片的な聞きかじりの知識がこの映画でつながった気がしました。ジグソーパズルが少しまとまって埋まった程度ですが、消費生活にどっぷりつかって生まれ育った私のこれから寿命が尽きるまでをどう生きるかと問われているようにも感じました。本日はどうもありがとうございました」など、ショッキングな内容に、今後の生き方にも影響した声が多くありました。

次のシルバー教室Ⅰ「マンゴー入りのしっとり1/2ロールケーキ作り」は、春先の何か始めたい気持ちのときに、公民館活動への関心を高める機会として、応募数が多いお菓子作りコンテンツを企画しました。今回も実習に参加できない方に見学制度も取り入れ、また、高齢者のQOLを上げる1つのきっかけづくりを目的に、シルバーのみを対象として開催しました。

実習参加者からは、「参加者の皆さんと和やかにでき、雰囲気もとてもよかったです。ありがとうございました」「外部のクッキングスクールは1万円以上なので、こちらのスクールは内容も値段も魅力的。充実した内容でした」など大変満足した意見がほとんどであり、見学者からは、「見学だけでしたが、十分分かってよかったです。その場において実際に見ているので、難しいところもよく分かりました。ありがとうございました」「見学だけでしたが、説明が聞けて、実際に目で確かめられて、とてもよかったです」など、動画視聴では得られない経験に満足する意見もあり、大変好評でした。

次のサークル展Ⅰは、東部公民館登録団体である東部フォトクラブ作品展で、額装10点を展示しました。

展示を御覧になった方からは、「全部上手と思いました。タイトルもよく考えていてグッドです」「どれもすばらしい作品でした。特に飛んでいるワシのピントの合い方がびっくりでした」「皆さん、すごいレンズを使っているなど。ふだんスマホからしか写真を撮らないので」など、感嘆の意見が多くあり、高評価でした。

2ページをお願いします。次の東部地域文化祭実行委員会役員会は、実行委員会の運営

体制等を協議し、続く5月17日に開催された東部地域文化祭実行委員会では、運営規約について、役員の承認について、令和7年度東部地域文化祭の全体概要について、文化祭のテーマについてなどが協議されました。

なお、令和7年度のテーマは、「地域とともに50年、あしたへつなごう文化の絆」に決定しました。

次の地域連携事業Ⅰ、調布市防災教育の日講演会「津波にあった家族と故郷「釜石市」～東日本大震災を振り返って～」は、昨年度、回廊展示を開催して、数多くのメディアにも取り上げられたこともあり、調布市居住の方のみならず、遠方に居住の方、同郷の方も多く来館され、また、西部、北部公民館での巡回展示、ギャラリートークなど、反響の大きかった企画展から派生した講演会です。調布市は、海には接していませんが、災害はいつ、どんなところで発生するか分かりません。調布市防災教育の日における1コンテンツとして、当館の公民館専門員で、被災者でもある職員の講演会を調布市立第四中学校体育館において、生徒や保護者、市民を対象に実施しました。講演会終了直後は、スタンディングオベーションこそなかったものの、大きく鳴り止まない拍手がしばらく続きました。また、当時を知らない生徒からの質問が相次ぎ、すばらしい講演会となりました。加えて、この講演会を聞いた四中生の作文展を開催しました。この件は次回の公運審の報告となります。

次の印刷機操作講習会は、団体支援として実施していますが、4月18日の講習会は7人の方が参加しました。この方々は今後、修了証の提示で3公民館とたづくりの印刷機の使用が可能となります。市民活動、自主グループ活動や公民館を利用している団体等に対し、公民館の印刷機の使い方の講習会となります。

3ページをお願いします。次の公民館運営審議会第2回定例会は記載のとおりです。

次の利用者懇談会Ⅰは、出席団体紹介の後、令和7年度東部公民館事業計画、50周年としての取組、東部地域文化祭、施設使用に当たって、最後にサークル活動の支援では、50周年企画で各サークルの紹介展示の原稿などを依頼しました。

次の東部公民館利用団体連絡会役員会及び東部公民館利用団体連絡会は、令和6年度活動報告、令和7年度活動計画、役員選出などに加え、50周年に関する内容が会議されました。

次の保育者連絡会は、保育つき事業実施時に勤務する会計年度任用職員について、守秘義務、個人情報の取扱いを注意喚起し、今年度の保育つき事業と事業実施に向けての意見

交換、最後に保育室の点検と整備を行いました。

次の50周年記念誌編集会議は、既に昨年度から開催されていますが、今回は記念誌に掲載する原稿執筆依頼者の確認及びサークルへの原稿依頼などについて会議しました。

最後に、広報につきましては、「東部公民館だより」4月号を7,250部、5月号を6,750部発行しました。

東部公民館は以上であります。

○安部委員長 ありがとうございます。それでは、西部公民館、福澤館長、お願いします。

○福澤西部公民館長 それでは、西部公民館です。4ページをお願いいたします。

初めに、成人教育です。講演会として、市制施行70周年記念事業、ロビー展示関連講演会「秘仏！元三大師像の大修理～御開帳をもっと楽しむために～」を実施しました。講師は、深大寺学芸員の菱沼沙織さんです。修復を終えた元三大師の御開帳に向けて、元三大師の人物像や仏像の特色、修復内容のほか、深大寺についての解説を行い、文化財及び深大寺を知っていただく機会とするとともに、市制施行70周年のタイミングで、市内の観光名所の魅力を改めて伝えることにより、親しみを感じてもらうきっかけとなることを目的に実施しました。

参加者からは、「中世、江戸期の深大寺の話も伺えて楽しかった」「深大寺や元三大師の由来がよく分かるお話でした。御開帳に行きます」などの感想をいただきました。

次に、コンサートです。「春のファミリーコンサート『音楽ってたのしい！きみも音楽ハカセになろう』」を実施しました。小学生までの子どもと保護者を対象に、一部クイズなども取り入れるなど、楽しみながら音楽に触れることができる参加型コンサートを実施しました。このような事業は、これまで実施が少なかったこともあり、新たな参加者が来るきっかけとなることも考えて行いました。当日は、フルート、バイオリン、ハープの音色を間近で味わい、楽しく音楽に触れることができたこともあり、把握できた範囲でも11組の新たな参加者がいらっしゃいました。

参加者からは、「大人も楽しめて、子どもたちもクイズなどで楽しんでいて、感動しました」「すてきな演奏だけでなく、楽器についても教えていただき、あっという間の1時間でした」などの感想をいただきました。

次に、体験教室Ⅰとして「本好きのみなさん、春こそ自分をブラッシュアップ！推し本座談会～紹介したい本を持ち寄って語り合ってみませんか～」を全4回で実施しました。

本好きな市民が、自分のこれという1冊を座談会形式で紹介し、相手に伝える表現方法のコツを身につけるとともに、参加者同士のコミュニケーションの充実を図ることを目的に実施いたしました。

参加者からは、「今までの読書会と違って、自分の好きな本を伝え合うことはとても楽しかった」「ほかの人がどんな本を推すか楽しみでした。いろいろな推し本が知れてよかったです」などの感想をいただきました。

次に、体験教室Ⅱとして「春から始めるはじめての手話体験教室～話してみよう手のことば」を全3回で実施しました。デフリンピックを前に、聴覚障害者への理解を深めるとともに、手話の技能を取得することを目的に、誰もが共に支え合う共生社会の実現への一助となることも意識して実施いたしました。また、講座終了後、参加者からの要望もあり、自主サークル化を目指して活動を続けられるよう、現在もサポートを続けております。

参加者からは、「以前から学びたかった手話をやっと体験できました」「みんなが弱いところをカバーし合う世の中でありたいです」などの感想をいただきました。

次に、成人学級です。成人学級は、それぞれ自分たちで計画を立て、学習を行っております。

まず、「ウエストガーデンきらら」は、ガーデニングを楽しみながら植物への親しみ、植物の特性や花壇の維持管理について学び、植物への理解を深めるとともに、花壇で育てた花材を使った作品作りに取り組むことを学習テーマにしております。今回は生田緑地への館外学習を含め、3回の活動を行いました。なお、今年度で4年目の学級です。

次に、「いのちの楽校」も今年で4年目の学級として、命を大切にするという大きなテーマを掲げ、幅広い学びを楽しく進めております。今回は調布市社会福祉協議会の担当者を迎え、その仕事内容や現状などについて学びました。

最後に、「ペンギンテラス」は、昨年度の子育てセミナーの参加者を中心に結成された今年度が初めての学級です。子どもとの生活に役立つ情報、知識を共有し、学び合うことで、子育て、母親の人生を彩りよくすることをテーマに進めております。これからも公民館として成人学級の活動を支援してまいります。

5ページをお願いします。展示会です。ロビー展として、市制施行70周年記念事業、ロビー展示「出張！深大寺～元三大師ってだれ？」を行いました。調布の観光名所でもある深大寺には多くの文化財があり、その中の1つである元三大師像が江戸期以来の修復を終え、久しぶりの御開帳に向けて、元三大師の魅力や修復の技術を学ぶとともに、深大寺を

知っていただく機会とするため、15点の展示を行いました。あわせて、公民館で活動している絵画や短歌のサークルが作品を出し合い、コラボレーション展示を行いました。また、冒頭に御説明させていただきました深大寺の学芸員の方からの講演会は、この展示の関連事業として実施しております。

次に、市民文化祭です。西部地域文化祭第1回実行委員会が開催され、委員長をはじめ実行委員会の役員が決定した後、会議の日程、今後の予定などが確認されました。

なお、今年度、西部地域文化祭のテーマは、昨年に引き続き「世代をつなぐ文化と仲間」に決定しました。

次に、団体支援です。まず、印刷機講習会では、市民活動などの団体に対し、印刷機の使い方の講習会を開催いたしました。

次に、サークル体験Ⅰとして、登録団体の「ヨガサークル スタート」が「働く女性のための週末リトリートヨガ『ヨガサークル スタート』体験教室」を実施しました。ふだんのサークル活動で行っているヨガで体をリフレッシュし、気持ちのよさを味わっていただくとともに、新たな会員の獲得を目的に実施しました。体験での参加者は4名おり、そのうち2名が入会されたとの報告があり、サークルの活性化につながったと考えております。

次に、サークル体験Ⅱとして、登録団体の「短歌スケッチ」が「日常の風景を短歌にしてみませんか『短歌スケッチ』体験教室」を実施しました。日常のちょっとした出来事や感動を短歌で表現する楽しさを味わいつつ、会の雰囲気を知ってもらうことを通じて、新規会員の獲得につなげることを目的に実施しました。体験での参加者は4名となり、そのうち新規に会員となった方が3名との報告を受けております。今後もサークルの活性化のため、サポートを続けていきたいと考えております。

6ページをお願いします。会議です。まず、保育者連絡会では、令和7年度の保育つき事業について、保育者と打合せをいたしました。

利用者懇談会では、34団体の出席があり、参加団体の紹介、施設の利用などについて確認しました。

西部公民館利用団体連絡会役員会は、この間に2回開催されました。第1回では令和6年度の活動報告、7年度の活動概要及び役員の選出が、第2回では令和7年度の定期総会に向けて話し合いが行われました。

西部公民館利用団体連絡会臨時総会では、令和6年度の活動と会計の報告、文化祭への

申込みの確認を行いました。

西部公民館利用団体連絡会総会では、令和7年度の役員決定の後、活動案、予算案が審議され、それぞれ承認されました。

最後に、広報です。「西部公民館だより」を4月6,500部、5月6,200部、合計1万2,700部発行いたしました。

西部公民館からは以上です。

○安部委員長 ありがとうございます。北部公民館、小川館長、お願いします。

○小川北部公民館長 続きまして、北部公民館です。7ページをお願いいたします。

青少年教育の子ども科学教室Ⅰ（親子）「酸とアルカリであそぼう～おふろのシュワちゃんをつくろう～」です。小学1、2年生とその保護者を対象に10組20人の募集を行いました。36組72人の応募がありましたが、今回は参加者を増やさずに実施いたしました。液体を混ぜ合わせて、その液体が酸性かアルカリ性かを知る実験をしたり、お湯に様々な液体を入れると泡は出るか、リトマス試験紙やホットケーキを使用して色の変化を見る実験をするなど、酸性とアルカリ性にはどんな特徴があるのかを予想し、様々な実験を行いました。最後に、お風呂に入れて泡の出る入浴剤を作成しました。実験をするたびに驚きの歓声上がり、親子で楽しく学ぶことができました。

参加者からは、「楽しんで実験ができた」「親子で貴重な体験ができた」「親子でお風呂が楽しみ」という声がありました。

次に、成人教育の芸術鑑賞講座Ⅰ「蔦重と3人の浮世絵師～歌麿、写楽、北斎～」、全3回を実施しました。江戸時代の版元、蔦屋重三郎が見出した3人の浮世絵師の作品を鑑賞しながら、その作風や人物の生涯について学びました。大河ドラマ「べらぼう」の影響もあってか、募集当日に40人の定員に達しました。特に北斎は、90歳まで生き、70代で富嶽三十六景という名作を生み出すという偉業を改めて知り、西洋美術に大きな影響を与えたことを作品を通して学びました。

参加者は、熱心にメモを取り、「今までぼんやり見ていた浮世絵が、講座に参加して生き生きとして見えてきました」「作風の違いがよく分かり面白い」という声があり、講師の講義内容が大変好評でした。

続いて、環境講座Ⅰ「虫はどんな花が好き？身近な生き物を観察して自然のつながりを知ろう！」は、当日の荒天により翌月へ延期となりました。

健康教室Ⅰ「健康な体をつくろう！らくらく続けるウオーキング講座」、全3回です。

市民の健康増進のため、骨盤を意識した気持ちいい歩き方の講座を実施しました。講師からは、歩く前後のストレッチの方法、正しい姿勢での歩き方などを実習して学びました。車通りが少なく、花や緑も多いコースを歩き、参加者は景色を楽しみながら歩いていました。運動量も歩く時間も多く、しっかり体全体を使って動けていました。講座終了後も個人で行える内容の講座となりました。65歳以下で募集をすると応募者は少なくなるため、講師から65歳以上を対象にしても良いかもしれないですねという提案もあったため、募集の年齢については次年度に向けて検討してまいろうと思っております。

次は、成人学級です。「サステナブルを学ぶ会」では、5月13日に調布市資源循環推進課の職員4人を講師とし、ごみ出しカレンダーを見ながら、ごみ出しのルールについて学び、市による啓発活動など様々な情報を聞きました。

次に、「Multicultural Study Group」です。5月9日に昨年度の活動の振り返りを行い、今後の活動や文化祭、フィールドワークについて話し合いを行いました。いずれの学級も5年目の学級となっております。

次に、高齢者教育のいきいき講座Ⅰ「シニア向けゆっくり歴史散歩～水の深大寺・野川へ続く川の流れ」、全3回です。募集当日に15人の定員に達しました。高齢者の市民を対象に、深大寺から野川まで、かつて流れていた2つの川の跡をたどる歴史散歩を行いました。深大寺の歴史と周辺の地理的特徴を学びました。1回目は、事前講義として深大寺建造物の創建、国宝白鳳仏の出自の謎、深大寺と2つの川について学び、地図をなぞりながら川の流れの確認を行いました。2回目、3回目については、実際に歩き、その跡をたどりました。

参加者からは、「知られざる川の経路をたどることは興味深く、実際に歩くことができ、学習意欲が湧いた」という声もありました。今後も北部公民館周辺の地域に関わるテーマで、シニア向けだけでなく、一般向けにも歴史散歩を実施できないか検討してまいります。

続いて、8ページをお願いいたします。家庭教育の親子ふれあい教室Ⅰ「はじめての親子ふれあい体操」、全3回です。0歳6か月から2歳までの子どもとその親を対象に、ストレッチやリズムに合わせてウオーキングやダンス、筋トレをするなど、子どもと一緒に体を動かす方法などを学びました。また、レッスン後の30分間の参加者同士の交流タイムでは、ほかの参加者が聞いて参考になり、答えやすいテーマを毎回設定し、互いの子育ての疑問など、様々な情報を交換していました。

続いて、展示です。北部公民館利用登録団体の画塾北社会による「春季絵画展」が展示

ギャラリーにて4月19日から5月4日まで開催されました。

次に、市民文化祭です。北部地域文化祭第1回実行委員会を5月10日に開催し、参加団体の顔合わせ、今年度のスケジュール、文化祭当日の内容などを協議しました。

次の北部地域文化祭実行委員会役員会では、4月5日と5月10日に役員会を開催し、文化祭運営方針などについて話し合い、実行委員会運営規約の確認を行いました。

続いて、連携事業です。地域連携事業Ⅰの「北の杜地域交流会議第1回目」を5月17日に開催し、実施予定事業について確認しました。北部地域文化祭で北の杜わくわくこどもまつりを共同で実施する健全育成推進上ノ原地区委員会、上ノ原まちづくりの会、深大寺通り商店会、北の杜青和会とイベントの実施内容について話し合いました。

続いて、9ページをお願いします。団体支援についてです。北部公民館利用登録団体の画塾北社会による「第4回絵画体験教室」、全2回を行いました。色紙に富士山等を遠近法を活用して描き、パステル等の画材で色づけし、全2回で完成させ、その後、展示ギャラリーにて展示しました。この教室により会員が増加したという報告を受けております。

次の「印刷機操作講習会」は、4月12日に開催いたしました。

続いて、会議です。4月5日に利用者懇談会を開催し、施設利用に関する説明などを行いました。

また、同日4月5日に北部公民館利用団体連絡会令和7年度定期総会が開催され、令和6年度活動報告を行い、令和7年度活動計画（案）などについて協議いたしました。

次の北部公民館利用団体連絡会役員会を5月10日に開催し、公民館敷地内除草作業の日程などを確認いたしました。

また、4月10日に保育者連絡会を開催し、保育利用者に配付している「保育室のしおり」などの見直し作業を行いました。

最後に、広報です。「北の杜通信」4月号6,100部、5月号5,600部を発行しました。

北部公民館からの報告は以上でございます。

○安部委員長　ありがとうございます。それでは、事業報告（4月～5月分）につきまして御質問等ございませんでしょうか。稲留委員。

○稲留委員　大変些細なことでも申し訳ないのですが、各公民館さんから広報の発行の話がございました。4月号と5月号を見ていると、4月号が多くて、5月号が各館とも若干下がっているのです。これはどういうことで下がるのか、あるいは発行部数についての何か統一的な考え方とかはあるのですか。それをお尋ねしたいと思って。

○安部委員長 丸山館長。

○丸山東部公民館長 4月分は、各学校のほうで学年の人数が固まっていない状況であるので、少し多めに刷っておきまして、5月以降は学級的人数が確定しますので、それに合わせた形で発行部数を調整している部分があったりします。この、近隣の各小・中学校の全児童・生徒に配付しているところが少し影響している部分があります。

○稲留委員 そうすると、5月以降は大体、平準化されていくと。

○丸山東部公民館長 そうですね。

○稲留委員 分かりました。ありがとうございました。

○安部委員長 ありがとうございます。ほかにございませんか。大槻委員。

○大槻副委員長 西部のほうにまず1点なのですが、成人のほうでコンサートが4月19日に行われていますが、春のファミリーコンサートという形で、春というのが出ています。これは、このときだけではなく定期的に、要は季節的に春、夏、秋、冬と4回ではないのですが、行っていくように考えたりしているのでしょうか。

○安部委員長 福澤館長。

○福澤西部公民館長 春のファミリーコンサートですが、ファミリーコンサートという名前では、今年度実施する方向では考えていなくて、別のコンサートを考えています。春に実施したコンサートという意味で、春のコンサートとしました。

○大槻副委員長 これは私の意見なのですが、先般の東部の50周年もそうなのですが、今回も西部のほうでバイオリン、フルート、ハープという形でやっていますよね。音楽はやはり人を集めるのです。人を捉えるものを変えさせる？と思うのです。ですので、これは館長の考え方も全然いいと思うのですが、継続してやっていくということが大事だと私は思いました。

以上です。

○安部委員長 ありがとうございます。ほかにございませんか。清水委員。

○清水委員 今回のコンサートの話なのですが、私もそのように思いました。というのも、申込人数と参加者があまりにも乖離があって、非常に申し込んでくださっているのだけれども、参加できないという状況は、これまでも指摘をさせていただいたところです。定例化してしまえば、またこの時期になればコンサートがあると思っていただけるかなと思います。1回申し込んで落選してしまうと、次に申し込むハードルは結構高くなると思うのです。せっかくファンが増えるところをみすみす逃してしまうということにもなりか

ねないので、私は副委員長の御意見に賛同させていただきます。

東部公民館などでは、お料理教室に見学制度ができて、申込みして漏れてしまったのだけれども、見学という形で参加できると。これが有効であるという御説明でしたので、見学制度はこれからも続けていっていただきたいと思います。お料理に関しては特になのかなと思ったりするのですけれども、会場の都合とか材料の都合とかもあるかと思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。

それから、東部公民館の見学のマンゴー入りのロールケーキのところなのですけれども、申込人数が4月16日は9人なのですが、実習が8で見学が4になっているのです。これは当日の受付をされたということですか。

○丸山東部公民館長 事前受付ですので……

○清水委員 8プラス4だと12人になるから、申込人数と合わないと思ったから、3人が当日受付とかがあったのですかと思ったのです。

○丸山東部公民館長 そのこの部分は確認をさせていただければと思います。

○清水委員 はい。そこがちょっと疑問に思ったところです。

市民講座、4月24日のファストファッションを考えるというテーマのことなのですけれども、申込みが20あったということで、申込年代はどういった感じになっているのか。というのは、ファストファッションを考えるに当たって、やはり若い世代に私は考えていただきたいと思うのです。なので、どのような年齢層が集まっているか分からないのですけれども、ファストファッションを取り入れる確率が高いのは若い世代かなと思ひまして、いかがでしょうか。

○丸山東部公民館長 具体的な年代のところは、今ちょっと把握はしていないところではありますが、自分が参加しましたが、体感若い子たちから高齢の方まで、また、ファッションに興味を持たれている方もいたと思ひます。結構年代はばらばらという認識ではあります。

○清水委員 内容が社会課題みたいな感じなので、もうちょっと分かりやすいようなことで、若い年代を集めるようなこともやっていただきたいなという感想です。

それから、西部公民館なのですけれども、定員と申込みと参加人数の乖離がやはり大きくて、もったいないと本当に思ひます。東部公民館などでは、近くの学校とかと連携して、会場をそちらに移して、定員を拡充したらいかがかみみたいな意見をさせていただいたことがあるのですけれども、ほかの公民館に関しては何か活用方法、地域資源はあるのか教え

ていただきたいと思います。東部公民館だと、例えば桐朋と連携して会場をお借りできたりとかということがあるみたい。

○安部委員長 福澤館長。

○福澤西部公民館長 まず、春のファミリーコンサートについてですが、冒頭御説明した内容と重なるところがあるのですが、お子さん向けのコンサートの実施自体が初めてに近い状況だったということで、まずやってみようということからスタートしたところがあります。ですので、人数的な把握が難しかったということがあります。あと単純に座って音楽を聴くのではなくて、クイズなどを取り入れながら、参加型のコンサートとするためにバイオリニストとかフルート、ハープの人と人数を考えながら、部屋を考えながらやったというところで、こういう形になりました。

今後どうするかというところですが、今年度については、ある程度計画が決まっていますので、これをもう一度やろうということは難しいかもしれないのですが、来年度以降、またこういう形で何か続けていこうとは思っております。

あわせて、キャパの問題については、西部公民館には中央に広いロビーがありますので、定員と申込人数が合わない場合は、講師と相談したり内容等が難しい場合は駄目なのですが、そこでうまくできれば、変えて実施しているところがたくさんあります。ですので、今後もそのように広く使っていけるところ、席だけなら60人、70人ぐらいなら入りますので、そういうところで実施することも考えつつ、やっていきたいと思っております。

以上です。

○安部委員長 その件に関しては、例えば児童館の体育館の利用とかもあり得ませんか。

○福澤西部公民館長 児童館なのですが、地域文化祭では借りることができるというのは事実なのですが、今、児童館の定員が非常に増えておりまして、保育園が足らなかった分が今度児童館が不足してしまっている傾向がありまして、なかなか通常の時間は空いていないというところがあります。ですので、これまで使用させてもらっている地域文化祭以外では難しいのかなと思っております。

○安部委員長 ほかの館は。小川館長。

○小川北部公民館長 北部公民館は、特にどこか場所を借りて何かやっているということはないかなと思います。ただ、文化祭のときには私立ですと晃華学園が近いので、そういったところとも連携しながら展示をしたりしているとは聞いています。今年度も一応そういう形で活動はするというのを聞いております。

以上です。

○清水委員 北部公民館に関しては、科学教室が大変人気ではないですか。毎回抽選になっている状態で、今回の入浴剤を作るというのかなり多くの申込みをいただいている、では、これは場所の問題ではないわけですかね。

○小川北部公民館長 そうですね。一応、講師のほうでできる人数、やはり材料を用意したり、実験もあるということで、そういったところでの人数設定になっています。

○清水委員 では、回数を増やしていただいたりとかで対応していただきたいと思いません。

最後にもう一点、成人学級「ペンギンテラス」が、子育てサークルみたいになってきている状況ということを伺いまして、子育て世代が地域での子育て支援を求めているということが、調布市の子ども・子育て計画のアンケート報告みたいなので出ていたのですが、歩いていける距離、すこやかに行ってくださいといっても、すこやかは遠いしというようなことで、本当に小地域で子育て支援が求められているということが報告書から見とれたのです。こうやって公民館などがやってくざると、歩いていける距離に行けるというメリットがあると思います。

さっき委員長から児童館というお話が出たのですけれども、児童館で子育てひろばをやっているのです。でも午前中しかやっていないで、今、児童館もキャパがということで、調布市の施設全体がそうなのですけれども、人口に対して施設のキャパがあまりに小さいというのもあるのです。なので、子育てサークル的なものができた場合、北部も交流ができてきているみたいな感じでさっきお伺いしたのですけれども、こういったところに出張型の子育てひろばとかを持ってくることができないのかなと思っていたところなのですが、それについて、もし御見解がありましたら教えていただきたいなど。

○安部委員長 誰から。全員ですよ。福澤館長。

○福澤西部公民館長 西部公民館のサークルの内容がでましたので、まず「ペンギンテラス」は、昨年度やった子育てセミナーの卒業生で結成したものなのです。十何年、15、16のサークル、同じような形でできているのです。今までの状況から、復職が決まるとそのサークルから抜けて、最終的には自然消滅していくような形で流れていますが、今も、続けているサークルは複数あります。自主的に進めていっているサークルなので、そういう形のものを尊重して公民館はやっていきたいと自分は思っております。

西部公民館に関しては、子育てセミナーを今年度実施したのですが、前年まで15回でや

っていたのです。そうしたら、この頃は復職が早かったりしてなかなか集まらない。あと、15回ですという、なかなか来ないのです。下の児童館の利用者にPRに行っても、回数のところでは難しいという方が多かったこともあり、今回、半分にしてみたのです。ただ、実施したところ、参加者からはもう少し延ばしてほしいという意見が多かったのです。ですので、今年度については6回を8回にして実施したいと思っています。そうすると、またサークル化に向けては結束が増えますので、可能性は高まると思っていますので、西部についてはそういう流れでサークル化を進めていって、子育てセミナー等によって、悩みがある方や、友達をつくりたい方はつくってもらってという形を今後も続けていきたいと思っています。

○清水委員 その中で出張型の子育てひろばというのが、どういう基準で、1回だけでもできるのかどうなのか分からないのだけれども、そういったことがあってもいいのかなという気はするのです。

○安部委員長 どこが出張するのですか。

○清水委員 子育てひろばは児童館でやっているのです。子ども政策のほうでやっている事業なのだけれども、それを公民館なり、出張してくれるという形の。

○安部委員長 それを公民館ですということですか。

○清水委員 公民館で受けることも不可能ではないはずなのだけれども、常設ではないので、例えば1回きりだったりとか、2回、3回の連続性があるものか分かりませんが、そういったことが、こういった形で受けられるのかなと。

○安部委員長 今のお話とはちょっと別ですね。

○清水委員 いえ、児童館でやっている子育てひろばは常設なのです。

○安部委員長 だから、今のお話とはちょっと別なのですね。

○清水委員 なので、そういう方向性ということは今伺ったのだけれども、そういったことができるようであれば、ちょっと研究してみたいなど。

○安部委員長 それは児童館事業との連携ですか。

○清水委員 そうです。連携。

○福澤西部公民館長 西部については、出張型といっても下に児童館があるので、なかなか難しいかなとは思っています。

○清水委員 だから、午前中しかやっていないので、午後に行きたいという人たちが漏れてしまっていたりとかするのです。

○安部委員長　子育てひろばのほうですか。

○清水委員　そうです。

○安部委員長　稲留委員。

○稲留委員　児童館自体は、それに対して何か対応していないのですか。

○清水委員　児童館は、午後は子ども、小学生が来てしまうので、使えないのです。その代替になるスペースみたいなのがもうない。子育てひろばというのは、赤ちゃんとお母さんが来るところなのです。

○稲留委員　前にも何組、人が来てというのが書いてあったことがありましたよね。そういうのを出張でやるというのはどうもよく分からない。

○清水委員　出張で、要は行政の職員がついてくるのです。行政の職員の担当がついてくるというシステムなのです。

○稲留委員　そうしたら、公民館は何をするのですか。

○清水委員　公民館に子育ての職員が出張で来るというイメージですかね。

○稲留委員　要するに、公民館は場所を貸すわけ？

○清水委員　そういうことです。

○稲留委員　そういうのはやっていたことがあるのではないかな。なかったっけ。

○安部委員長　丸山館長。

○丸山東部公民館長　公民館が主催でというわけではなくて、今、稲留委員がおっしゃっていただいたとおり、所管部署が公的な内容として、事業等を実施したいので、公共施設を借りたいというところでは、登録団体の方たちが主軸にはなると思うので、市民の方が利用することに大きく影響しないことを考慮してお貸しすることは可能だと思います。

東部公民館でいうと、今、教育部指導室が行っている不登校生徒の方の「みらい」というところで、一定期間、お貸出しをしているようなところがありますので、そういう形では展開が可能ではないかと思います。

○清水委員　すみません、私もどういう形でできるかというのはちょっと分からなくて言っているのですけれども、そういうこともどうかなということです。

○安部委員長　なかなか所管が違うところのお話なので、場所貸しの話なのか、今後の検討課題にしていいただければいいかなと。今、こちらの成人学級の「ペンギンテラス」さんは、講座を踏まえて成人学級をつくりました、その活動のことでの報告なのです。多

分、清水委員のおっしゃっていることは、子育ての場所が地域には少ないのでということで、公民館が午後空いているのならば活用できたところ、ちょっと意図が違ってくるかなと思うので、その辺のところは児童、子育てのほうと連携をするなり、何かちよっと違う形でやらないと難しいのかなと思いました。

○清水委員　　すみません。ありがとうございます。

○安部委員長　　稲留委員。

○稲留委員　　私の理解だと、公民館の使用状況の中で団体種別というのがあって、市の部課、官公庁とか、そういうのが書いてあるのです。子育てはどの部課がやっているのかよく分かりませんが、その部課がこういうことを継続的にやりたいやりたいで、各公民館の使用申込みみたいなのを事務的にやろうと思ったらできないことではないような気がします。

○清水委員　　なのですけれども、向こうから来ないと受けられないかもしれないという感じ。

○稲留委員　　公民館自体が児童とか赤ちゃん対策で、具体的な行政目的の1つになってという話になると、ちょっと話が違ってきってしまうような気がします。

○清水委員　　ただ、場所がないというのは現実なのです。

○稲留委員　　それは何かやりようがあるような気がします。

○清水委員　　ありがとうございました。

○安部委員長　　丸山館長。

○丸山東部公民館長　　2点ほど補足をさせていただければと思います。先ほど桐朋女子中高の場所を借りているというような話があったのですが、我々のほうで学校の敷地の中の一角を貸してくださいという話ではなくて、連携している教師の方から、こちらで中学生に講義をするのだけれども、東部公民館を利用されている団体とか市民の方も一緒に勉強しませんかというお誘いがあります。やはり学校という敷地を私たちが積極的に申し出る時代ではなく、なかなか難しいのかなと。安全の面だったりとか、そういうところがあるので、ちょっとその部分では違う内容かなというところがあります。

あともう一点、前回、八田副委員長から少し項目ごとに人数を出したらどうだということで、今回から報告書には、各成人教育、高齢者教育のところには人数を付させていただいておりますので、御承知おきいただければと思います。

あと、人気コンテンツのものにつきましては、やり方ではあるのですが、例えば

東部公民館は実習と見学制度を入れていたりとか、あとは抽選になる場合には初参加の方優先ですよというような形で、何回も何回も応募いただいている方で、1回目、2回目、当選された方は御遠慮いただいて、初参加の方について、参加していただくというような手法を取り入れたりとかして、一定程度の人が何回も何回もというリピーターにならないような努力もしているところでもあります。

以上です。

○安部委員長　ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。八田委員。

○八田副委員長　先ほど清水委員からありました施設の利用という点で考えると、御報告いただいている使用状況の中で、和室などに関しては、利用率が2割とか3割ですよ。ということは午後の時間帯でも、子どもたちの遊ぶ場所といっても乳児であれば、子育て系のファミリーなのか、お母さんと子どもで保育つきみたいな形も含め、利用率からすると、多目的に利用できるのは利用できるのだと思うのです。

では、どこが主催なのというときに、公民館側が頭を取ってやるというよりは、自主的なサークル活動を推進する点にはなるのだろうと思いますので、逆に言うと、利用状況からすると、子育てひろばで利用できるという連携などはあるのだろうと思いますので、その辺、いい連携を取っていくといいのではないかなと思いますので、よろしく願いします。

まず、東部公民館の先ほどありましたマンゴー入りのロールケーキの定員と申込みと実数の関係なのですけれども、ここでいう16人という定員と実習に参加された8人の関係なのですが、申込みは21だったりするので、本当は16までいけるところ、実際に参加したのが8なのか、2日間あるから8、8の16で定員満ちているのですと見てしまうのか、どう見ればいいのか。

○丸山東部公民館長　お話しいただいた後段のほうになると思います。

○八田副委員長　後段のほうということは、定員は8ということですか。

○丸山東部公民館長　8、8だったと思います。

○八田副委員長　だとすると、表のつくりとして定員16ではなくて、定員8と書いたほうが正しいのではないかなと思います。なぜかという申込みが21で、16あるのだったら16受ければいいのかと思うではないですか。なので、その辺ちょっと工夫をされるといいというのが1点です。

○丸山東部公民館長　ありがとうございます。

○八田副委員長　次に、2ページ目に、これで2年目になるのかもかもしれませんが、下から2行目、地域連携事業の「津波にあった家族と故郷「釜石市」」の内容ですけれども、大変いい内容なので、3館連携で、地域を変えながら、みんなが忘れないという事業展開。これは公民館を飛び越してでもすばらしい内容なのだろうと思いますので、時を変えながら、いい事業として展開されるといいなと思うところなので、これはぜひ今後に向けても御検討いただければなという内容です。

ちょっと飛んで4ページなのですが、下から2行目の成人学級の中に、社会福祉協議会の担当者によるというのがあって、私、社協なものですから、ぜひとも成人教育の中で社協に関連する内容など、学習のテーマがありましたら、お誘いいただければいいなと思いますので、ぜひ御利用くださいということで、お伝えさせていただきます。

その下の「ペンギンテラス」のことで、先ほど子育てセミナーからの派生という話がありました。内容のところは「親睦を深める」だけだと、どんな活動なのかが分からないので、ぜひこの辺をほかの方も分かるような記述に変えておくといいのではないかと思います。子育てセミナーから派生して成人学級ということになっているので、ぜひそれらが次の学級に派生するような内容になるといいと思いますので、その辺の書き方の工夫を今後やっていかれるといいなと思ったところでもあります。

最後に、市制施行70周年記念で、元三大師さんの関係で展示をおやりになっていたいでいるので、大変地域資源でもあるので、ほかの館でも展開するのか、もったいないからもっと使えばいいのと思うところなのですが、3館に派生したり、検討の余地はないのでしょうか。そこだけ御質問させていただきます。

○安部委員長　福澤館長。

○福澤西部公民館長　先に「ペンギンテラス」のことなのですが、この書き方は考えさせていただきますが、成人学級は1年間を通しての活動になりますので、今後そういう内容が出てくることになります。今回、第1回目、成人学級は5月からのスタートなのです。全ての館でそうなのですが、スタートで、まずはそういう形で親睦を深める会、こういう書き方になってしまったということなので、もう少し書き方は変えさせていただきます。ただし、翌月以降は少しずつそういう内容のものが中に入ってきますので、ちょっと見ていただければと思っております。

○八田副委員長　「ペンギンテラス」というもの自体が何をやっているのかも分からないので、子育て系のサークルで、どんなことをやっている流れの中で親睦を深めています

というのが分かるといいのだろうと思ったからです。

○福澤西部公民館長　　2つ目の元三大師の関係の展示なのですが、西部公民館が終わった後に北部公民館で展示をさせていただきました。ただ、東部公民館では、50周年があった関係での関連事業の実施と、キャパの関係等々がありまして、見合わせたということで、2館でやらせていただいたというのが現実のところですよ。

以上です。

○八田副委員長　　承知しました。ありがとうございました。

○安部委員長　　ありがとうございます。ほかにございませんか。石井委員。

○石井委員　　重複するかもしれませんが、西部公民館のファミリーコンサートと、北部公民館のおふろのシュワちゃんをつくろう、こういうのは、前にもちょっと話したかも分からないですけども、やはり親子が楽しみにして申し込んでいるのだと思います。それで、申し込んだけれども、当選しなかったということで、子どもたちがすごくがっかりしていると思うのです。この辺のところをちょっと配慮しながら、これからやっていただくといいと思います。

以上です。

○安部委員長　　ありがとうございます。ほかに。栗原委員はいいですか。

○栗原委員　　はい。

○安部委員長　　平野委員はありますか。大丈夫ですか。

○平野委員　　大丈夫です。

○安部委員長　　ほかにございませんか。――では、私から。公民館利用団体連絡会、北部のほうで公民館敷地内の除草作業、これ、すごいいいなと思って。地域の方々が公民館の草の抜き取りとか、北部は結構大変だと思うので。私がうっかりしていたのかもしれないんですけども、今まであまり見たことがないので。

それと、北部のほうで地域との連携も結構されているので、それぞれの地域の公民館の活動としても大事なことだと思うので、よろしく願いいたします。ほかは皆さんがいろいろなことでおっしゃっていることと変わらないので、よろしく願いいたします。

ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、報告については以上ということで、次に(3)社会教育委員の会議(令和7年度第1回)について、よろしく願いいたします。丸山館長。

○丸山東部公民館長　それでは、令和7年度第1回調布市社会教育委員の会議について御報告いたします。資料3をお願いいたします。

会議は、令和7年5月13日火曜日午後1時30分から教育会館3階301研修室で行われました。議題につきましては、記載のとおりですが、大きく変更となった箇所について御説明いたします。

2、議題、(2)報告事項ウ、令和7年度事業計画です。もともとの所管部署の計画案が、各社会教育施設の処務規程に基づいて、運営協議会等にて計画案の議を経て、教育委員会に諮るという流れになっておりました。それに基づいて、規定に基づく事務の流れに戻しています。昨年度までは、協議事項の計画案の状態を出していたような状況です。

次に、(4)その他は、令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会についてですけれども、今年度、調布市が幹事市で、演劇をする内容の報告がありました。

なお、多数の応募があったということでもありますので、オーディションを実施する予定だそうです。

最後に、次回の社会教育委員の会議ですが、令和7年7月8日火曜日、教育会館301研修室で開催されます。

説明は以上となります。

○安部委員長　それでは、第1回調布市社会教育委員の会議の報告につきまして、皆様から御質問等ございませんか。今の説明で大丈夫ですか。稲留委員。

○稲留委員　報告事項のウの(ア)が公民館の事業計画ですね。これについて何か特徴的な議論だとか、そういったことの問題はなかったですかということをお尋ねしたいと思います。ただ、淡々として進んでしまったとか。

○安部委員長　丸山館長。

○丸山東部公民館長　ウの中で(ア)から(オ)まで、各社会教育部署の計画を出しているところです。公民館につきましては、社会教育委員の会議の委員さんの御参加が多種多様であって、障害に関する講座などを少しやってほしいというような要望というか、お話はありました。

○安部委員長　よろしいですか。

○稲留委員　結構です。ありがとうございました。

○安部委員長　ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、ただいまの報告に質問がなければ、次の日程に進みたいと思います。日程第2、その他です。次回の定例会開催日程について、丸山東部公民館長から説明をお願いいたします。

○丸山東部公民館長 次回定例会の予定です。今回は令和7年8月26日火曜日、第33期の初回となる令和7年第4回定例会を西部公民館で開催を予定しております。

当日は、定例会前に委嘱式を執り行うことで調整しておりますので、御承知おきいただければと思います。詳細につきましては、また別途、追って通知をさせていただきます。

説明は以上となります。

○安部委員長 ありがとうございます。それから、(2)東部公民館開館50周年について。

○丸山東部公民館長 それでは、東部公民館開館50周年について御報告いたします。

去る6月14日土曜日に、せんがわ劇場において、東部公民館開館50周年記念フェスティバル「音楽と映像で祝うオン・ステージ」が満員御礼の中、大々盛況のうちに終了いたしました。委員の皆様、御出席いただきまして大変ありがとうございました。当日は、天気も何とかもって、雨も降らずに何とか最後までできました。

令和7年度は、東部公民館にとって50周年、半世紀という節目の年であり、市民の御意見をいただくまでもなく、このフェスティバルは数年前から構想し、シミュレーションなどを繰り返し、分刻みのスケジュールを立て、直前まで修正に取り組み、当日は全職員が臨機応変に対応し、無事故で滞りなく終了しました。同時に、この日は職員の努力が結実した記念すべき日となりました。

本フェスティバルを御観覧、体験した市民からは、終了直後から、10名以上の方から「大変よかった」「大満足した」「この内容で無料なの」「盛りだくさんの内容及び進行が完璧でした」などと、お褒めの言葉をたくさん頂戴いたしました。

連携いただいている学校のクイズや演奏はもとより、講座から生まれた市民参加による舞台演奏や歌唱、当日の出演者に加えて、当日、御観覧いただいた東部公民館で活動する登録団体の会員、地域を含めた市民全員参加の合唱など、市民参加の集大成であったと確信しています。

事業ではこのフェスティバルが皮切りとなりますが、今後、ちょこぼん関連のキャンドル作成、折り紙事業、地域文化祭、記念誌の発行など、盛りだくさんの事業展開となりますので、乞う御期待ください。

説明は以上となります。

○安部委員長　　ありがとうございました。それでは、ただいまの報告、何かありますでしょうか。八田委員。

○八田副委員長　　大変すばらしい内容だったと思います。1つ確認なのですが、動画か何かでコンサートというか式典を押さえていらっしゃるのですか。だとすると、Y o u T u b e 配信だとか、あそこの会場が80人とか100人とか、限られた人しか入れていませんので、ぜひライブ配信をするというのではないかなと思うところなのですが、全般ではなくても、オカリナで奏でておられるところだとか、許可を得なくてはいけなかったりするケースもあるのはあるのですが、ぜひとも、いい事業でもありましたので、配信できるといいなと思いますが、いかがでしょうか。

○安部委員長　　丸山館長。

○丸山東部公民館長　　ぜひ検討していきたいと思います。個人情報に関係もあつたりとか、そういうことは想定していなかったもので、地域文化祭とかではもちろん見ていただければと思っていますが、そういうことも含めて改めて検討していきたいと思います。

○八田副委員長　　なかなか限られたキャパで、先ほど石井委員からもありましたとおり、参加したいけれども、漏れてしまうというケースがあったときに、Y o u T u b e なりで見られるということであれば、参加できないけれども、後日、見ることができるというか、体験できることでもあるので、配信をするというのを前提に動画を撮っておくというのがいいのではないかなと思うので、ぜひとも検討いただければいいなと思います。後づけで苦しいところもあるかもしれませんが、ぜひともそうやっていくといいなと思いますので、よろしくをお願いします。

○安部委員長　　では、御検討のほどよろしくお願ひいたします。栗原委員。

○栗原委員　　50周年記念の関係で、内容は大変すばらしかったと思います。ただ、普通、東部公民館が主役ということなので、東部公民館側から挨拶とかそういうのがなかったような気がするのですが、何か特別な事情とかそういうのがあるのでしょうか。

○丸山東部公民館長　　特別な事情はございました。先ほどお話をさせていただきましたが、分刻みのスケジュールで、教育長、議長、来賓をしていただく関係についても議員様も絞らせていただいて、その人たちの時間をまずは確保する。私が登壇して挨拶する機会を設けることができないということでしたので、プログラムに私の名前で、公民館の50周年に当たって、「ようこそお越しくございました」ということで、記事を掲載させていただいたという状況です。

○栗原委員 ありがとうございました。

○安部委員長 ありがとうございました。ございませんか。ほかに御意見、御感想等。
大槻委員。

○大槻副委員長 今回の意見に続けて、私も50周年、会場をせんがわ劇場にして、あれだけ入っていました。最後まで皆さんいらっしゃいました。私は、さらに呼ぶために大きくしろとか、そういうことだけではなくて、あの状態で最初から最後までしっかりやったということに対して、本当によくやったのではないかなと思います。やはりこれもみんなが頑張ったからということが館長の話にもありましたけれども、それだけをまず考えていくのが大事だと思います。

以上です。

○安部委員長 ありがとうございました。稲留委員。

○稲留委員 今回の50周年の件ですけれども、私はそもそも音楽は疎いほうなのですが、割と間近で拝見させていただいて、演奏している方が、曲を弾くときに、バイオリンは手だけでやっているのではなくて、本当に体で弾いているとか、それから、曲に合わせて表情や目の色が変わってきているとか、そういうのも克明に見えてよかったと思います。

特に、私は個々人のお名前は知りませんが、多分、日本のトップクラスの方々ではないかと思うのです。それを呼べるという東部公民館、多分、桐朋さんとの長年のお付き合い、この実績は大したものだということが1つ。

それに比べると、初めのほうは非常に手作り感があって、それがまた地元の公民館としては初々しいというか、親しみやすいというか、その対比も本当にすばらしかったです。やっている方々も一生懸命おやりになっていたし、中には事務を担当している専門員の方もぱっと出てきて一緒に演奏に加わっていたとか、そんなのも見られたし、本当に感激しました。本当にありがとうございました。

○安部委員長 コンサートをやるということ自体がとても大変なことなので、ありがとうございました。皆さんの満足度も高かったようで。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

それでは、(3)その他に移りたいと思います。各館から何かございますか。大丈夫ですね。

○丸山東部公民館長 大丈夫です。

○安部委員長 それでは、本日が第32期の調布市公民館運営審議会委員さんの最後の定

例会となりますので、この2年間、委員さんとして支えていただいた皆様からお一言ずつ
いただきたいと思います。

それでは、私から、第32期の委員の皆様、2年間お疲れさまでした。ありがとうございました。
そして、会の進行に関して御協力いただきましてありがとうございました。

私、今回の会議で委員という形は終わらせていただくのですけれども、やはり公民館と
いうのが地域の市民の方々の居場所となっているということを本当にこの何年間も感じさ
せていただいておりますし、公民館自体が職員の方、地域の方々と一緒につくり上げてい
くということが、この公運審の中ではよく分かることになったと思います。事業のつくり
方にしても、皆さんの意見からまた次年度に生かすというようなこともありましたので、
こういう地域の中での市民の方々の活動を支える場として、公民館をこれからも公運審の
委員の方々が盛り上げていただければと思います。私も長い間、公運審を務めさせてい
たきました。長い間、本当にありがとうございました（拍手）。

○大槻副委員長 皆さん、本当に2年間どうもありがとうございましたと同時に、御苦
労さまでした。皆さん、2年間同じメンバーで、本当に自分の意見、自分の考え、これは
共通なところと言えば、我々、東部、西部、北部、公民館を考えている上での意見という
形で、みんなで頑張ってきたと思います。

私も、ちょっとしたことでしか言えないかもしれないですけれども、できるだけは頑張
ってきました。こういう形で進められたこと、終えたことを皆さん、本当に自分自身で誇
りに思って、みんなで本当にありがとうございますということで、御苦労さまでした。ど
うもすみません（拍手）。

○八田副委員長 社協の常務理事で参画をさせていただきまして、前任の小西は10年間
お世話になっていました。私は2年目で、今度3年目を迎える際に、33期も推薦対象にな
っているであろうと思います。

この間、長きにわたり委員長にお務めいただいたところですので、今期で最後の御挨拶
がありましたけれども、ぜひとも公民館運営審議会の委員で、さらに活性化するような、
発意を持った議論ができるようにあるといいなと。できるものとできないものがあると思
いますが、ぜひとも参考にさせていただきながらやっていければと思っています。委員長、
お疲れさまでございました。今後ともよろしく願いいたします（拍手）。

○栗原委員 どうもありがとうございました。大したこともできなかったような気がし
ます。今後は一ファンとして公民館を陰で支えていけたらと思いますので、よろしくお願

いたします（拍手）。

○清水委員　2年間、大変お世話になりました。いろいろな団体、いろいろなお立場の方とこうやって御一緒できて、いろいろな御意見をそれぞれのお立場で聞かせていただいて、本当に勉強になりました。今後とも、公民館が活性化するように私も市議会で頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました（拍手）。

○石井委員　どうもありがとうございました。私は東部公民館にお世話になっていて、5つのグループに属しているのです。これからは地元に戻って、しっかりと東部公民館の館長さんなどと御連絡を取り合ってやっていきたいと思います。

こうやって公運審に入って感じたところは、みんな各公民館がすごく頑張っているな、努力しているなと私は思いました。ですから、これからはしっかりと応援していきますから、よろしく願います。ありがとうございました（拍手）。

○稲留委員　稲留です。よろしく願います。

私、調布市には長いこと出たり入ったりしていたのですけれども、公民館という名前は知っていましたが、何をやっているか全く知らなくて、リタイアして、趣味が百人一首とか写真だったもので、どこかそういうところがないかなと思ったら、こちらにあたり何かして、それでお世話になることになって、初めは単に自分の趣味だけ来て帰って行って、ただ場所だけ貸してもらっているみたいな雰囲気だったのですけれども、ひよんなことから文化祭の実行委員長をやれという話になってしまって、それでちょっと焦りまして、やはり勉強してみると、いろいろなクラブがあって、いろいろな方が支えているのがよく分かって、やれ一安心と思っていたら、今度は西部公民館でもやれと言われて、2年間、連続でやらされました。

西部公民館とここの違いは、西部公民館はロビーが広いので、行っても座っている場所があるのです。文化祭の最中は、暇なときは必ずそこに行って座っていて、いろいろなものを見たりしているうちによく分かるようになりました。こちらは残念ながら来ても、うろうろしているだけで落ち着けるところがないので、そういう意味ではちょっと申し訳なかったという感じもしたのですけれども、やはりいろいろな人のサポートもあって、新しい試みなどもうまくいったりして、多分それが経緯でこちらのほうもやれということになりまして、やらせていただいて、改めていろいろなことをおやりになっているのがよく分かりました。大したことも言えませんでしたけれども、私なりには発言させて

いただいたと思います。どうもありがとうございました（拍手）。

○平野委員 前任の方の残りの1年ということで引継ぎをさせていただいておりました。公民館運営審議委員という、審議をするほどの立場でもございませぬし、むしろ公民館の運営をするに当たって、本当に綿密に行われているのだなということが、とてもお勉強になった1年間ではありました。

文化協会といたしましては、やはり高齢化で運営をし切れない団体が多くなり始めまして、いかに底上げ、若年の方にも入っていただけるかということが大きな課題で最近では進んでおります。そんな中で、やはり公民館さんを利用されている方たちが、サークルが大きくなり、また1つの団体に派生していくような流れがぜひともあっていただけて、会員が減ってしまつて団体が減るというような流れをストップさせて、また、同じような団体がひしめき合い始めてしまひまして、同じ類いで文化協会に加盟したいというような話もここ数年あるのですが、そうではなくて、例えば新しい短歌ですとか俳句ですとかという声がよく出始めております。ぜひとも団体に加盟していただけるような場所として、公民館さんが長く長く続いていていただけるとありがたいと個人的には思ひました。

また、文化祭を文化フェスタという形、今年は彩咲祭という調布よさこいの派生したお祭りと同じ日にイベントを行う。これは文化祭がよりPRできる場としてやっていきましようという大きな目標の下に、財団さんとの連携でその日が設定されておりますので、地域文化祭のPRを最もさせていただくような場所になったらいいなとも考えておりますので、ぜひとも今後とも文化協会との御協力をよろしくお願ひいたしまして御挨拶させていただきます。短い間でしたけれども、大変お勉強になりまして、ありがとうございました（拍手）。

○安部委員長 それでは、突然に一言、皆さんの御挨拶をお願ひいたしまして、本日の定例会、日程は全て終了いたしましてしたので、令和7年調布市公民館運営審議会第3回定例会を閉会いたしまして。御協力どうもありがとうございました。

閉会 午後3時40分